

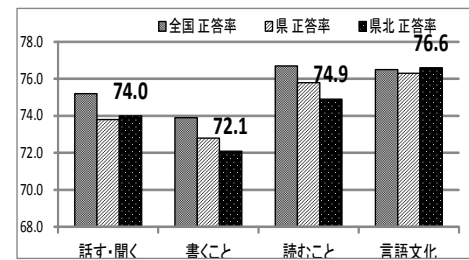
平成30年度全国学力・学習状況調査結果を授業改善に生かすために

県北教育事務所

国語 (中学校)
〔中学校国語 A〕

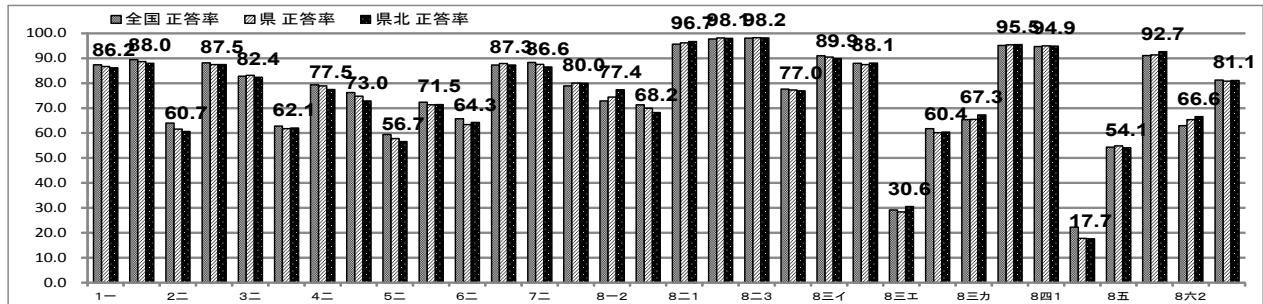
正答率	H30	全国比
県北	76	-0.1
県	76	-0.1
全国	76.1	

※ 領域別の正答率 (値は県北地区)



県北域内の正答率は、全国平均より0.1ポイント低い。領域別では「言語」領域が全国平均と同程度であるが、「話す・聞く」「書く」「読む」領域は、全国平均より低い。

【各設問ごとの正答率 (値は県北地区)】



【結果】(課題として挙げた問題は、正答率の低い問題や過去に課題とされていた問題である。)

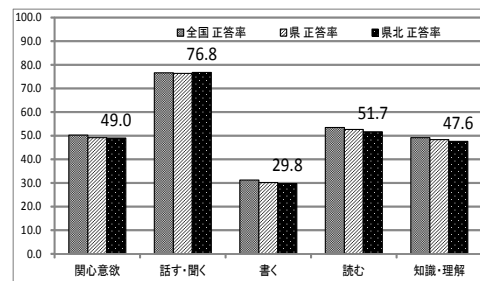
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直したり、古典の現代語訳を選択したりできる。[8]六(1)(2)
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。[8]三カ
- 文脈に即して漢字を正しく書くことができる。[8]- (1)(2)

- 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くことに課題がある。[2]二
- 文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討することに課題がある。[4]-
- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を正しく捉えることに課題がある。[5]二

〔中学校国語 B〕

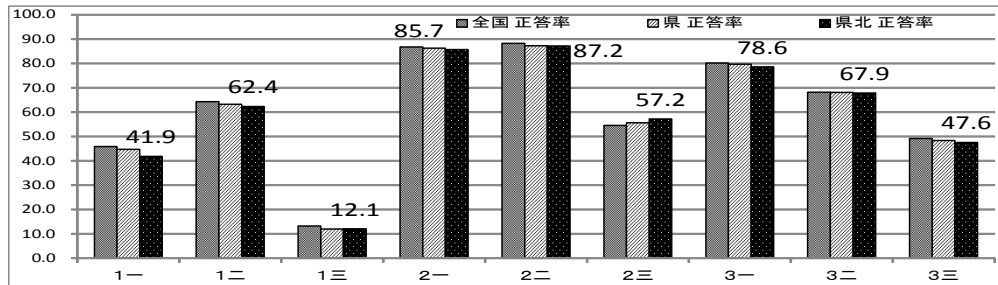
正答率	H30	全国比
県北	60	-1.2
県	61	-0.2
全国	61.2	

※ 領域別の正答率 (値は県北地区)



県北域内は正答率は、全国平均より1.2ポイント低い。領域別では、「話す・聞く」領域が全国平均を上回ったが、「書く」「読む」「知識・理解・技能」領域では全国平均より低い。

【各設問ごとの正答率 (値は県北地区)】



【結果】(課題として挙げた問題は、正答率の低い問題や過去に課題とされていた問題である。)

- 全体と部分との関係に注意して相手の反応をふまえながら話すことができている。[2]三
- 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問をすることができる。[2]二

- 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことに課題がある。[1]三
- 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることに課題がある。[1]-
- 文章の構成や展開について自分の考えをもつことに課題がある。[1]二